

自主製材品質基準を発表

国産材製材協会

製材種と含水率・寸法差の基準

樹種	杉			桧		
	柱角	土合角	平角	柱角	土合角	平角
寸法	105、120		材幅:左同 材せり:240以下	105、120、135		材幅:左同 材せり:270以下
含水率	SD20	SD20	SD20	SD20	SD20	SD20
寸法差	+側	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5
	-側	0	0	0	0	0

※上記以外のサイズについては、別途、要望基準に対応。
(単位:含水率は表示値以下で%、寸法は仕上げ材でミリ)

寸法精度はプラス0.5、マイナス0.5ミリ

21年1月からの受注に対応

国産材製材協会(豆原義重会長)は、平成21年10月1日から施行される「特定住宅瑕疵担保履行法」に対応するために、主要構造用製材品の自主的な品質基準を決定すべく討議を進めてきたが、このほど決定し、8日に公表した。この品質基準で21年1月からの受注に対応することとなった。

同協会は、ムク木材の良さを最大限に生かしながら、集材材の優れた精度と品質に近づけた製品を作ることに取り組んでいるが、平成21年10月1日から施行される「特定住宅瑕疵担保履行法」にムク木材製材品が対応できるように自主品質基準を討議してきた。

先に関催された平成20年度の第1回例会では、品質規格委員会から策定原案が提出され検討されていた。その後、何回かの討議を経て決定し、8日公表となったもの。同品質基準は、21年1月からの受注に対応するとされている。

主要構造用製材の品質基準は――
①対象とする構造用製材は、杉、桧で、管製材は、杉、桧で、管柱、通し柱、土台、大引き、根太、梁、桁、母屋、間柱、筋違の木口寸法が、90×90ミリ以上の構造用製材は、機械等級区分③機械等級区分等級と曲げ性能は、杉材が等級E50以上(曲げヤング係数3・9)5・9GPa以上)、桧材は等級E70以上(曲げヤング係数

5・9)7・8GPa以上)④含水率はSD20、寸法差はマイナスイ、プラス0・5ミリ(平角は1・0ミリ)⑤その他の品質では、建築基準施行例第3章第3節第41条(木材)に定める「構造耐力上主要な部分に使用する木材の品質は、節・腐れ・繊維の傾斜・丸身等による耐力上の欠点

の無いものでなければならぬ。」を適用する、となっている。なお、他のサイズについては、別途、要望の基準に添える。トド松、カラ松製材品の品質基準については検討中、としている。

発行所 〒135-0 編集 総務 日 http:// eメール 購読 日

ホホ Japa

震博覧会